

ささやき声検査

<検査の方法>

1. 絵を子どもの方向に向けて置き、1 mぐらい離れ、向かい合い座ります。
2. 「この絵の名前を言うから、お母（父）さんが言った絵を指さしてね。」と子どもに言って、普通の声（会話する時の声）で、絵シートの表示した絵の名前を言い、子どもが6個の絵をすべて正しく指させるように練習します。
3. 「今度は小さな声で絵の名前を言うから、よく聞いて、指さしてね。」と、子どもに言って、口元を手などで隠し、6個の絵の名前を、ささやき声で1回ずつ言い、アンケート（お子さんの耳、鼻、喉に関するアンケート）に正しく指せれば○、指せなければ×を記入します。

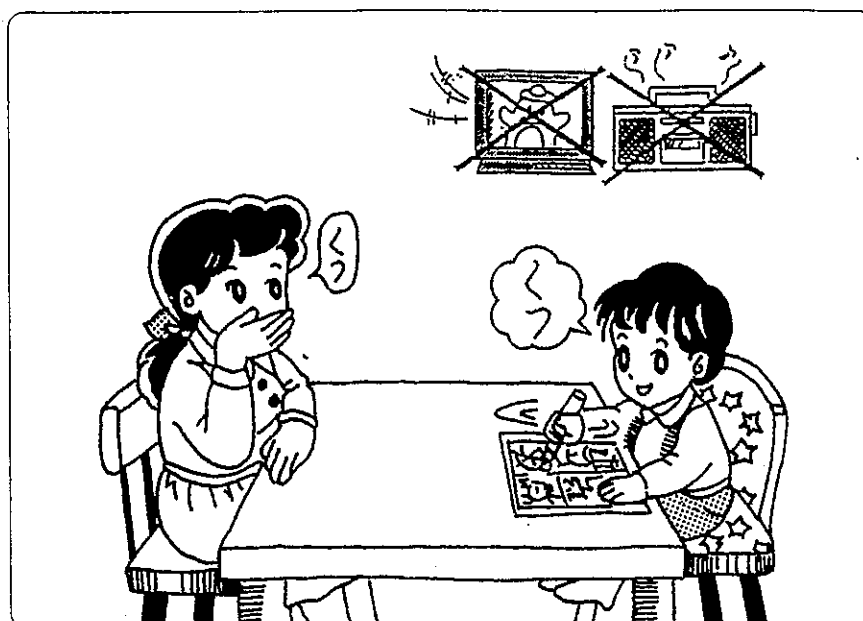
<検査の注意事項>

絵の名前を言うのは1回だけです。聞き返されても、繰り返し言わないでください。また、ささやき声が大きくなるよう注意してください。

<“ささやき声”の出し方>

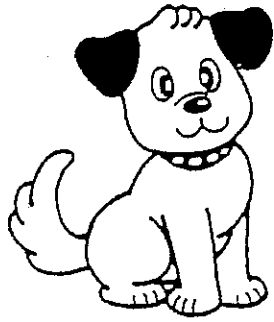
ささやき声は、息を出すだけの感じで、ないしょ話のようにささやきます。

普通の声は、のど（のどぼとけ）に手をあてたとき、指に振動が感じられますが、ないしょ話のようにささやくと振動は感じません。この状態が“ささやき声”です。

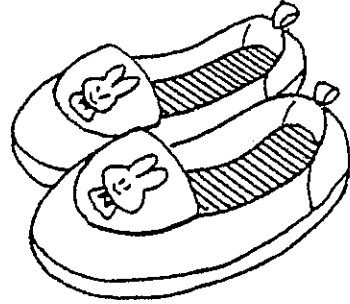


絵シート

イヌ



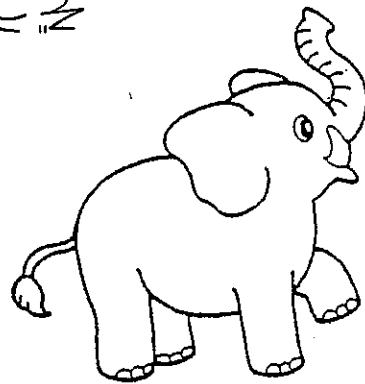
ウエリ



カサ



ゾウ



ネコ



イス

